

日本クラブユース (U-15) サッカー選手権 千葉県大会 決勝戦

2017年5月28日(日)13:30キックオフ ~フロンティアサッカーフィールド~

WINGS U-15 0(0-0、0-0)0(PK 3-5) FC.ラルクヴェール千葉

主審:大勝 雅禎氏 副審:浅賀 達也氏、安藤 学氏 (文中敬称略)

Q.まずは試合を終えての感想をお願いします！

大勝：決勝戦でのレフェリングは初めてでしたが、最後の最後までしっかり行い、無事に終わることが出来て良かったです。

浅賀：無事にサポートすることが出来て良かったです。

安藤：大勢の観客の中で緊張しましたが、最後までしっかりと行えて良かったです。



(左から 安藤氏、大勝氏、浅賀氏)

Q.レフェリーを行う上で、普段の生活でどんな事に心掛けていますか？

大勝：日々、仕事が終わら階段を使って歩くようにしています。また、トレーニングする時間を取るのが難しい時もあるため、ヘルスケアには特に心掛けて、ストレッチ運動も取り込んでいます。

浅賀：怪我をしないようにストレッチを欠かさず行っております。また、電車通勤の際に降車駅は2つ手前の駅を選んで歩くようにもしています。レフェリー活動の際には、なるべく自転車で対応しています。

安藤：仕事は毎晩遅くまでかかってしまうので、電車の乗り降り時には歩くようにしています。会社に筋トレマシーンが置いてあるので、活用するようにしています。BSテレビでサッカー観戦と同時に、レフェリングのイメージトレーニングも行っております。



Q.シーズンに入りました。今年度はどのような目標を持っておられますか？

大勝：今秋には2級昇級チャレンジをし、来春には昇級出来るように頑張りたい！

浅賀：「2級を受けても大丈夫！」と、言われる事を目指して頑張ります！

安藤：割当を受けるようになってから2シーズン目なので、より上のカテゴリーの、どんな試合にでも対応できるようにする事。そして、大勝さんに負けぬように頑張っていきます！！(笑)

Q. 今日の試合をうけて、「今後はこうしたい」等、やるべき事があれば教えてください！

大勝：手を使ったファウルを課題にし、より明確な見極めを目標にしていきたいと思いました。

浅賀：カテゴリーに応じ、しっかりレフェリングをしていく事を当たり前としてやっていきたい。

安藤：良い位置にいる事が何よりと考え、ポジショニングをより意識したレフェリングを行っていきたい。

Q. 最後に、レフェリーニュース読者の皆さんへ一言、お願いします！

大勝：一生懸命やることで、レフェリングの上達を体感しています。審判員の立場から、千葉県のサッカー発展に向け、盛り上げていきましょう！

浅賀：レフェリーをやるからには、少しでもこういった決勝戦で出来る事を目標にしてやっていきましょう！

安藤：サッカーは、選手が主役です。安心・信頼出来るレフェリングが出来れば、選手の能力を引き出す事にもなるので、やめられないです！4種にてコーチングをしていて指導しておりますが、指導だけではなくレフェリーもやってみるのも良い事だと思います！

平成29年度 第22回千葉県サッカー選手権大会 決勝戦

2017年4月9日(日)13:00キックオフ ~フクダ電子アリーナ~

ブリオベッカ浦安 1(0-0,1-0)0 江戸川大学サッカー部

主審:清水 勇人氏、副審:中島 智弘氏、森田 秀一氏、第4の審判員:山崎 久氏(文中敬称略)

前日から雨が降り続き、決勝戦も途中で雨が激しく降るとい非常に難しいコンディションの中、無事に決勝を終えた審判団にフクダ電子アリーナでインタビューを行いました。

Q まずは試合を終えての感想を教えてください。

清水 : 試合は大きな問題もなく無事終わったことは良かったですが、まだまだ個人的には改善しなければならない余地はあったと思います。特に雨というコンディションだったので、スライディングとかでチャレンジするのに対して、どう選手の安全を配慮した判定をできるか? 気をつけました。

中島 : 雨の中で難しいシーンもあるか? と思いましたが、清水さんのリードもあって無事に終えることが出来て良かったです。

森田 : 雨の状況で、一瞬の判断など勉強になりました。

山崎 : この大会に参加できて嬉しく思いましたし、試合自体は大きな問題となるシーンは無かったと思いますが、審判チームで事前の打ち合わせや連携など勉強になりました。

Q 本日は雨の中での試合という事で、特に事前に打ち合わせしたことなどはありますか?

清水 : それはあります! 特に、ボールが跳ねるとか予期しない状況が起こりうるので、ハンドとかアフタータックルなどが起こりやすいので、そういうところをしっかり見よう! と打ち合わせしました。

Q その中で課題として取り組んだことは?

清水 : 出来るだけゲームを切らずに続けさせることです。もちろん状況によっては止めたりしなければならぬのですが、それは出来ていたんじゃないですかネ!

森田 : 前回は副審を担当した時に、オフサイドの見極めとライン際で突っ込んでくる選手の両方を見る副審の動きを研修でも言われていたので、その視点をどこに置くか? を意識して試合に臨みました。

山崎 : ベンチの選手がアップする時に規定の場所で行っているか? ケアすると共に、清水さんのレフェリングや4thとしてAIとどうコミュニケーションを取るかなどを勉強しようと思いました。

Q 毎週末に試合があるのですが、それに向けた準備や常に行っているルーティンは?

清水 : 特別なことはせず、トレーニングはいつも通りしていますし、それがルーティンといえばそうですね?

中島 : 仕事が不規則なので、時間がある時に少しでも動くようにしています。

森田 : 私は夜は時間が取れるので、ジムなどでトレーニングしています。

山崎 : 特にルーティンはないですが、試合が終わった時に次の試合に向けて身体のケアをしています。この歳なんで! (笑) 身体を大事に永く動けるように心掛けています。

Q 審判活動におけるモットーは?

清水 : 割り当ては基本全部マル! (笑)

中島 : とにかく細く長くやることかな? やれるところまで、せっかく仲間もたくさんいるので!

森田 : 試合の中で(課題を)考えながらすることかな? 何も考えないとそのまま終わってしまうので、...

山崎 : 出来るだけ自分もサッカーを楽しみながらレフェリングできれば! と考えています。



Q みなさんプレーヤーとしても経験がありますが、その頃と審判になって審判への印象など変わったことはありますか？

清水：プレーヤーの時は審判のことなんて考えていなかったかな～！でも、審判になって「やっぱりサッカーって奥が深いんだな！」と思います。色々考えなければいけない事もたくさんありますし、まだまだサッカーをわかっていないな！と(笑)

一同：深いね～～！

清水：深いからサッカーは面白いのですよね！

中島：やはり、見えない世界が見えたな！と思います。選手の時では運営とか時間管理とかは一切考えなかったのですが、そういう裏方的な事もあるので、試合を運営するのも大変だ！と感じました。

森田：私はキーパーだったので、キーパー目線と試合の中に入って見える世界が違い、それが面白いと思います。

山崎：プレーヤーの時はチームの事しか考えていなかったし、お父さんコーチになっても同じでしたが、審判になってどんなゲームを見ても審判目線で見えるようになって、そこが大きな違いですネ！(笑)また、サッカーだけでなく、バスケットボールなど他のスポーツを見ても審判目線になってしまっています(苦笑)。



Q 中島さんと森田さんは20代で若いのですが、若い審判に一言！

中島：仕事は選びましょう！！(一同：爆笑)時間を作れる、土日に休める仕事の間違いないです！(苦笑)とても難しいことですけどネ！

森田：私は土日休めるのですが、(仕事は)色々選択肢があると思いますが、覚悟を持って一つに絞って決めてください！



Q 清水さんと山崎さんは家庭をお持ちなのですが、審判活動と家庭の両立で工夫していることは？

清水：特にないですネ！理解してくれていると思いますヨ！家族の理解に支えられています。

山崎：私は子供が3人いるのですが、3人とももう離れちゃったので、「勝手にして！」っていう感じで！(笑)

Q 最後に、新年度が始まりましたが、本年度の目標・抱負は？

中島：(真っ先に!)怪我をしない！

清水：なんだよ～！(言われちゃったな)コンディションを整えて常に良いパフォーマンスをできるように自己管理をしっかりとって試合で頑張ります！

森田：とことんやり抜きます！

山崎：永く続けるために身体のケアをしっかりとって、少しでも良いレフェリングができるように日々努力します。

一同：お疲れ様でした～！



(左から 森田氏、山崎氏、清水氏、中島氏)

